

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会

所属:志政クラブ

〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
TEL.042-724-2171
FAX.050-3161-7663



双方向の情報交流

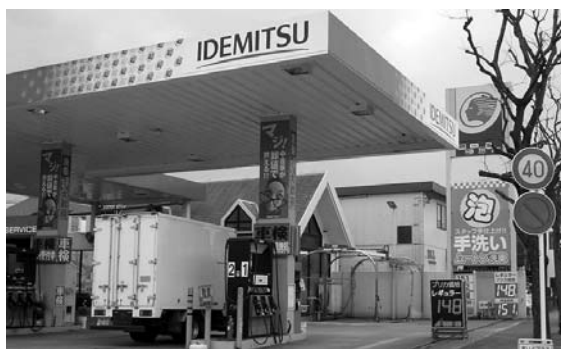
景気の動向と税金負担

政府が「デフレ克服」と言う経済目標を提唱し、昨年末(2012年12月)より株高と円安が同時に発生しており、その傾向は新年以降もますます顕著になっています。

株価の上昇は、それを資産として持つ人に財産の増加をもたらし、それを担保にする人にはさらに投資活動を盛んにさせ、一部には消費を拡大させる動向につながっています。他方で、円安は製造企業の輸出競争力の強みとなっており、その一面、ガソリンや食料品の輸入価格が上昇を見せています。

さらに、大手企業では、業績が好調な会社を中心に2013年度の定期昇給やボーナスのアップが起き始めました。そのことで国家財政の2013年度歳入は、所得税が今後大きく好転する可能性が高まりました。

ただし、地方税の市民税は前年所得への課税となっているため、その好転時期にずれが生じます。町田市は2013年度の歳入予算でも、個人市民税の収入は減収を見込んでいます。さらに、法人市民税は新たに減税措置が取られており、将来的にもよほどの景気上昇がないと増収にはつながらないでしょう。



モノレール協議会組織は疑問

「多摩都市モノレール町田方面延伸協議会」の設立・運営は疑問だらけではないかとして、市議会の一般質問で尋ねました。

その設立を記念したとするシンポジウムの運営方法が非常にちぐはぐであり、改めて疑問点を議会の本会議で質問した次第です。つまり、「開催時間になっても始まらない」、「コーディネーターが会の名称を度々間違える」、「一般参加者の質問を含めて、一切の質問を受け付けようとしめない」などお粗末の限りでした。

本来、町田市の将来を決する交通政策に関する運動ですので、広範な市民に参加を募って開催すべき総会を、多数の議員にも知らせずに設立したやり方が間違っていました。他の都市では行政と議会が車の両輪のように一体になって進める促進運動が展開されており、これでは町田市は大幅に出遅れます。すなわち、多摩都市モノレールは、その延伸ルートで北多摩方面、八王子方面などの希望路線が引き合っており、延伸ルートが競合している状態です。

町田市行政のやり方は全国のどこの自治体の例に従ったのか分かりません。私の質問に対して、担当部の説明は、町田市は独自のやり方で進みたいのか、それすら不明でした。

市長は、横浜市職員時代にはこの分野は経験が無いとして説明を回避しましたが、最終的には「協議会の組織構成は再検討をしたい」と答弁しました。今後、モノレール町田延伸の促進事業は、市政の重要課題になるでしょう。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

発行 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12サンホワイトE103-13吉田つとむ事務所

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

吉田つとむ自宅

〒194-0011
東京都町田市
成瀬が丘1-14-12
サンホワイトE103-13
☎042-795-7361



次期インターン生を
募集しています

新市民ホールの建設について

現在の市民ホールが約800席と手狭であり、新たに大きな市民ホールを必要とする意見は市民の中でかなり幅広い支持を得ているように考えています。

今期、総務常任委員の私の質疑で初めて分ったことですが、この大きな新市民ホール＝コンベンションホールに関して、過去に住民請願があったことが行政には一切伝わっていませんでした。私には驚きでした。住民から提起され、議会が承認した請願は行政がそれを受け止め、直ちにではなくとも、何れはそれを実現してくれるものだと思っていました。もちろん、中には10年もかかるものもあるでしょう。あるいは、20年かかるかも知れません。しかし、政治はそのことをしっかり見つめ、皆が協力し合っていくことだと理解してきました。

現実には、そうした思いはキャリアを持った議員にあるだけで、担当が数年で替っていく役人の世界には伝承されることなく、見事に、忘却されていました。この日の質疑中には、その請願時期や採択に至った十分な経緯を思い出せず、後から行政の企画政策部に文書を渡す手配をしました。会議テーブルにはパソコンを置いているが、LAN接続を認めておらず、この請願のデータをその場では開示できない次第でした。

ちなみに、この請願は1997年3月5日に提出され、自民党議員と共産党議員が紹介議員になっており、全会一致で採択となっていました。自分の記憶が正しかったことが再確認できました。当時の人口は36万1577人であるがこの請願では記されていました。



(現在の町田市民ホール2013.3.15撮影)

市長退職金は不要のはず

私は市議会の総務常任委員会に所属しており、この第1定例会において、その中で職員関係の給与や退職金に関する条例会改正案を審議しました。給付を若干引き下げることと、能力給化を進める内容でしたが、合わせて「市長等の給与関係の条例改定案」を審議しました。今回、私はその市長に関する改定案の内容に反対討論をしたのが最も特徴的なことでした。その理由として、その議案は市長や理事者への支出を若干減らす内容でしたが、市長が過去に述べた「自分は退職金をもらわなくて良い」としたわけだから、この際、市長の退職金をなくすようにすべきだと主張しました。

残念ながら、総務常任委員会の採決において私の同調者は出ませんでした。しかし、この主張は議員に理解を得られないとしても、市民の方には広い共感を得るだろうと思っています。なぜなら、政治家は自分の発言に責任を持つべきであり、ましてや、それは大きな自己権力を持った市長と言う政治家であればなおさらだと考えるためです。今回は少数意見で終わりましたが、委員長の本会議報告の中で報告されるし、町田市議会のインターネット中継(総務常任委員会)の記録に残っています。

掲載記事、あるいはご関心事は、下記のFAXかもしくはメールまでご送信ください。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

Mail : yoshidaben@gmail.com

mobil : yoshidaben@docomo.ne.jp

市議会報告・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会

所属:志政クラブ

〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
TEL.042-724-2171
FAX.050-3161-7663



議員の身の処し方は

この間、市議会の議会改革調査特別委員会において、議員の定数・報酬・政務調査費—活動費に関して協議を行っています。定数では、大幅に削減すべきとした住民請願は1票差で退けられました。もとより、志政クラブは、吉田つとむを含めて全員が賛成側でした。その後、議員の相互間で「果たしてどのような人数が適当か」を論議していますが、私は「一定の削減は不可避」と言う立場で論陣を張っています。

次いで、報酬(期末手当を含めた全体)のあり方では、関係審議会の答申で「削減」が提示され、協議中です。賛否動向が入り混じっていますが、私は、答申の趣旨を概ね受け入れる形で減額となる措置が適当との見地で意見を述べています。ただし、議論の過程で、行政側が審議会委員に提供した資料の中で町田市議が他より高いとする変則的な数値で構成されていたことが判明しました。

他に、政務調査費—活動費の費用の問題では、私は「議員の充実した調査活動を考慮すると、一定の増額が必要である」と述べています。これは、責任ある議会活動を行なっていけば、そのための調査・報告の費用が増加する他ないと見ているためでもあります。

なお、議会は議員が自分自身の取り扱いを条例で定めることができますが、実際には議論が噛み合わない状態です。ただし、町田市議会は国会の論議よりは先行した結論を出すべきだと考え、今月中の決着を目指していきます。今後も経過・結果をこうした配布レポートやネット記事の中で独自に記載して広報していきます。

プロスポーツと行政支援

「町田市スポーツ推進条例」が新規条例として上程され、本会議での審議を行いました。行政がスポーツ施設の拡充やその支援に関して責任を持つというものです。ただし、この中に町田市内に拠点を置くプロスポーツチーム(ホームタウンチーム)の支援義務事項が入っており、J2からJFLに転落したプロサッカーチーム〈FC町田ゼルビア〉とその関係施設運営支出の新たな暴走を懸念する質疑が相次ぎました。

私もその一人であり、今後の過大な施設整備や応援のための市役所職員の大量動員や、入場券の大量購入などが心配でした。

他の議員の言い方では、行政による「ズブズブの支出」、私の表現では「青天井の支出」をやらせないための歯止め策を質しました。

条例案にはアマチュアスポーツの支援事項もあり、結果的には賛成するわけですが、野津田競技場のサッカー場に転換した際のように、歯止めを無くしてしまった財政支出を繰り返すわけには行かないという思いを強くしています。



(町田市HP:新装された陸上競技場の写真)

★吉田つとむのインターンシップについて〈1998年～現在31期まで〉

大学生を対象に、議会や議員活動に同行することを通じて社会勉強を行っている研修制度です。インターン希望の方、あるいは関心がある方は、ホームページ掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



インターン生を同行

市庁舎のコンビニや食堂

昨年7月に新築移転した市役所ですが、その中に入るコンビニや食堂の営業に問題が起きており、今議会で問題となりました。1階駅寄りの場所にあるコンビニエンスストアは、契約の営業時間を守らずに开店時間を勝手に短縮したり、2Fの食堂は場所代が無料契約なのに、なぜ休憩のみの人の入場を認めないのかとするものでした。私が質疑したコンビニの営業時間短縮問題は、その店舗の売り上げ不振を町田市が心配して、時間短縮措置を黙認していることが判明しました。コンビニ導入は、旧庁舎では障がい者の支援団体が運営する売店を撤退させて入札が行なわれたものであり、この大手民間企業のコンビニに対して、町田市のおもいやりの協力範囲には節度が必要と主張しました。

インターン生の傍聴記

3月8日、三回目の研修がありました。この日は一般質問の日で、初めて議場の傍聴席に入って、何人かの議員の一般質問を傍聴しました。みなさんそれぞれ4つ程度の質問をされていましたが、驚いたのが、議員さん一人一人の着眼点が全く違う、ということです。一言に町田市といっても大きな市であるため、なされている事業がたくさん存在し、多くの事案を検討しなければならないのは当然かもしれませんが、このように多くの市議会議員がいるのは、人それぞれ違う観点から町田市について考えることでよりよい町づくりができるからなのかもしれない、と思いました。

次に驚いたのは、質問されている事柄について私がほとんど知らない、ということでした。すべて町田市についての内容のほずであり、私自身町田市に引っ越してきて14年になるのに、町田市で行われていることをほとんど知らないことに気づきました。例えば、多摩都市モノレールを町田方面に延伸することが検討されていること、町田市にエコキャラクターが誕生していたこと、その他町田市をよりよい町にするための様々な方策など、私が普段大学などであまり町田市にいないことを鑑みても知らないことが多すぎた印象です。自分が住んでいる街なのにこれでは少し寂しいですね。これからはもっと自分の身の回りで行われていることに気を使いたいと思います。普段通勤や通学などでほとんど町田市にいない方も、もうちょっと自分が住んでいる町田市について目を向けてみてはいかがでしょうか。

(第31期研修生：林 泉(いずみ))

東京大学教養学部1年生)



★次期の市議会日程(予定) 告示：5月30日、初本会議6月6日、最終本会議日6月28日
今期第1定例会は3月27日が最終本会議 表決日程。4～5月は委員会開催や視察日程。

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12サンホワイトE103-13吉田つとむ〔町田市議会議員〕